



現在の病棟 (高島町)



当時の病棟



= 92 =

旧中央病院入院患者引っ越し 昭和59年8月 (本市場)

患者さんに負担をかけない引っ越し

私は、昭和45年から看護師として中央病院に勤務していました。当時の病院は、現在の県富士総合庁舎の場所にあり、4階建ての病棟が2棟建っていました。救急患者専用の治療室がなく各科で対応したり、ナースステーションが狭かったりするなど不便を感じていましたね。

昭和59年8月28日、高島町に最新の医療と設備を兼ね備えた待望の新病院がオープン。この日、午前中は外来患者を受け入れ、午後の限られた時間で入院患者の引っ越しをしなければなりません。そこで引っ越しの際、患者さんに少しでも負担をかけないように、一人一人に対して新しい病室のベッドの位置や担当する看護師を決めるなど、事前に入念な準備と話し合いをしました。

引っ越しは、軽症患者をバスで何度も搬送したり、写真の保育器の新生児や人工呼吸器を装着した重症患者を救急車で搬送したり大がかりなものでした。それでも、事前に準備したおかげで、混乱なく迅速に行うことができました。

これからも、患者さんに不安と負担を与えない病院であり続けてほしいですね。



当時中央病院で看護師をしていた
渡邊 鈴子さん (原田)

こちら編集室

今回の紙面では、ストレスを取り上げています。日常生活を送る上でストレスを感じないという人は少数ではないかと思えます。睡眠による休養が大切というのですが、私は、心身の健康維持のためにも散歩とジョギングをして

います。適度な疲労のおかげもあり、毎日ぐっすり眠れていますし、ここ数年風邪も引いていません。ストレスをためないことが重要だと思います。皆さんも、自分なりのストレス解消法を見つけ、心身の健康を維持しましょう。(kt)

人口	260,339人	(前月比-163)
男	128,961人	(-91)
女	131,378人	(-72)
世帯	99,031世帯	(-29)

8月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123 ㊚0545-51-1456

おしえて
コパルふじ
53-1111
受付時間
8:30~19:00

平成24年9月5日号 (毎月5日・20日発行)